

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-1	
PDCA	主要事業名	道路維持修繕事業（維持修繕・改修）	部課名	建設部土木課	担当	加古		
					内線	434		
P	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 218,770 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.02.02.50						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理道路について、適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。						
		事業目的： 市内一円の道路を維持管理する。						
		事業内容： 市内一円の道路施設の維持修繕・改修工事を行う。						
		問題点・ 多種多様な要望等がある中、道路瑕疵に繋がる道路状況を発見し、緊急性や課題等： 必要性を考慮し、迅速な対応が必要である。						
	予算額	主要事業とする理由						
	218,770 千円	住民生活の基盤となる道路において、安全で快適な通行を確保するため、修繕や改修を行う必要がある。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	快適で安全な道路を確保することができる。						
	146,427 千円							
	国費							
	0 千円							
	県費							
	0 千円							
	その他							
72,343 千円								
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果						
	215,931 千円	通行に支障となる危険箇所及び不具合を修繕することで、道路利用者の安全を確保することができた。						
		成果指標						
			令和5年度	単位				
	道路維持改修路線数	実績値	4	路線				
		目標値	4	路線				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。道路管理瑕疵は、過去10か年の平均2.2件に対し、近年は、令和3年度1件、令和4年度2件、令和5年度2件と平均をやや下回っているものの、発生の防止に努めていく必要がある。 計画的に実施した改修工事4路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。 また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、道路パトロールの重点項目を見直しながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイレボ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。 また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	